

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取り付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

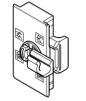
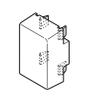
- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります。障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・窓台は45×100mm以上、間柱は30mm以上の材料で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取り付けてください。
 - ・指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定してください。
- 障子が勢いよく開いて、けが・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
 - 防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

■取付け上のお願

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- バルンサー部品箱は別売りです。

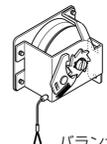
■部品・ねじ一覧表

※本文中の①～⑥は、部品・ねじの種類を示します。

①	②	③	④	⑤
				
φ2.1×32 スクリュー釘	φ3.5×20 皿木ねじ	アーム スライダー	障子 ストッパー	M4×6 トラス小ねじ

■バルンサー部品箱(別売り)一覧表

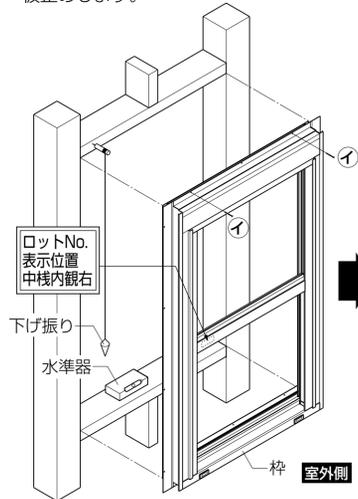
※本文中の⑦・⑧は、部品・ねじの種類を示します。

バルンサー取付け用	
⑦	⑧
	
M4×10 バインド小ねじ	バルンサー

■取付け順序

1 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

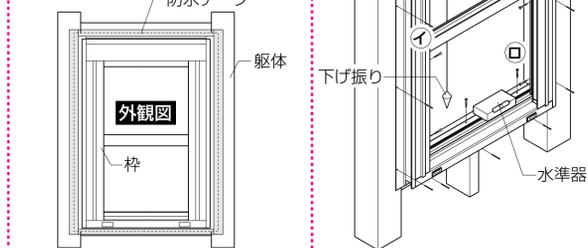


2 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
 ※固定後、必ずバルンサーの調整を行ってください。
 ※枠の水平・垂直を正確に出して取り付けてください。
 開閉不良の原因になることがあります。
 ※上枠カバー材が取り付けられている場合は、一旦外してから②の皿木ねじを固定してください。(上枠カバー材の取付けを参照ください。)

▲注意

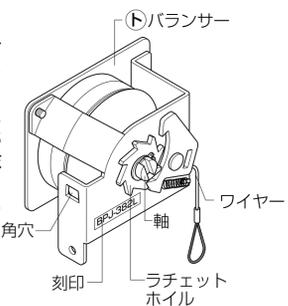
●本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



3 バルンサーの取付け

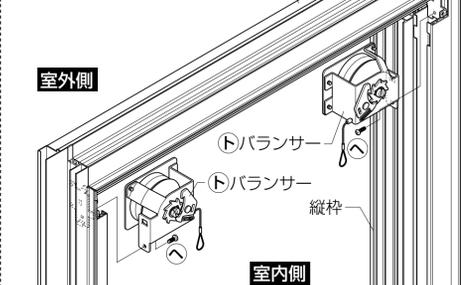
■お願い

※障子建込み前にバルンサーのワイヤーを引き出ししたり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。
 障子が建て込めなくなったり、バルンサーが破損したりすることがあります。
 ※バルンサーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L(内観左)・R(内観右)を確認してください。



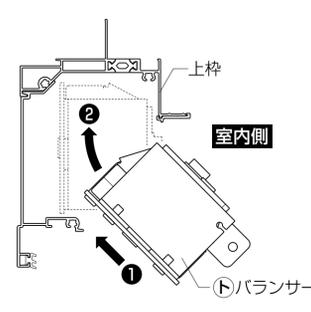
※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバルンサーが異なります。取付け前にバルンサーの機種を確認してください。

※バルンサーは、枠組立て前・枠組立て後・FIX部のガラス入れ後のいずれでも縦枠に取り付けることができます。



①バルンサーを45°傾けて、上枠に差し込みます。

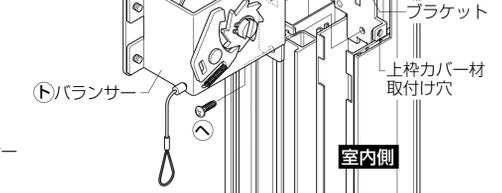
②バルンサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。



③バルンサーを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバルンサーの角穴を引っ掛けます。

④バルンサーをブラケットにねじ止めします。

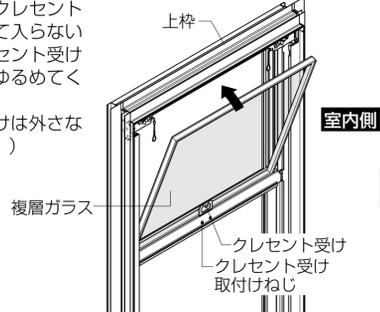
⑤同様にもう一方のバルンサーを取り付けます。



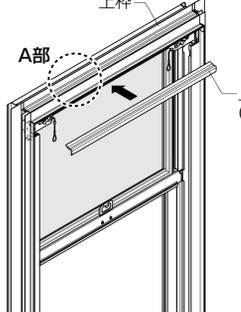
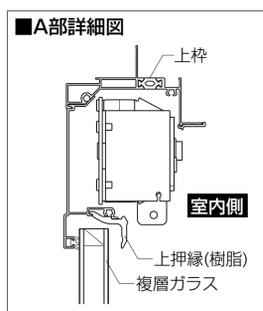
4 FIX部のガラス入れ

①ガラスを入れます。

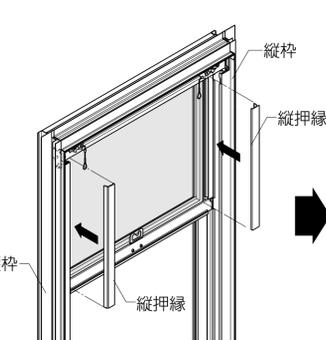
※ガラスが厚くクレセント受けに当たって入らない場合は、クレセント受け取付けねじをゆるめてください。(クレセント受けは外さないでください。)



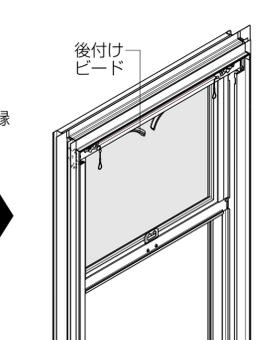
②上押縁を取り付けます。



③縦押縁を取り付けます。



④後付けビードを回します。



■取付け順序

5 障子の建込み

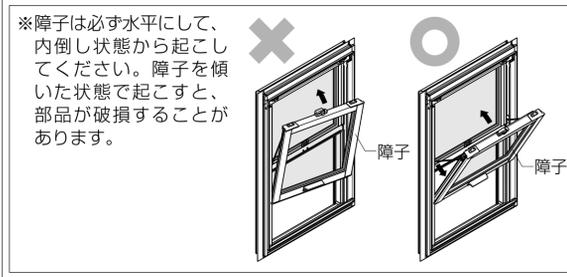
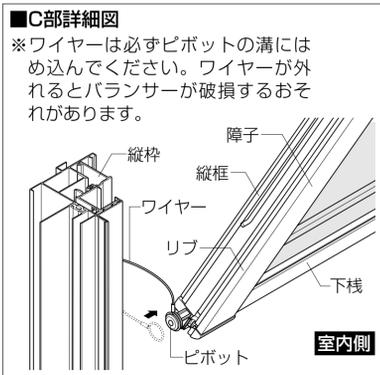
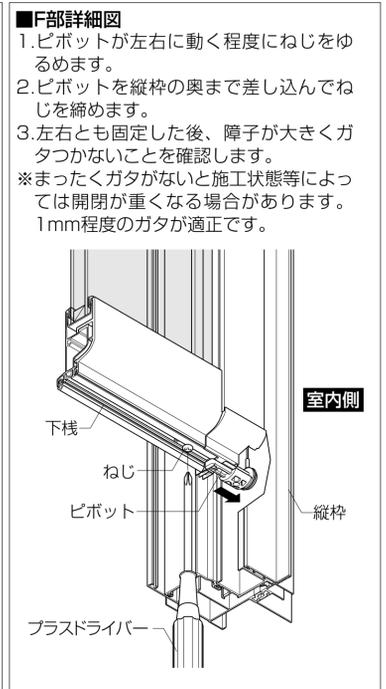
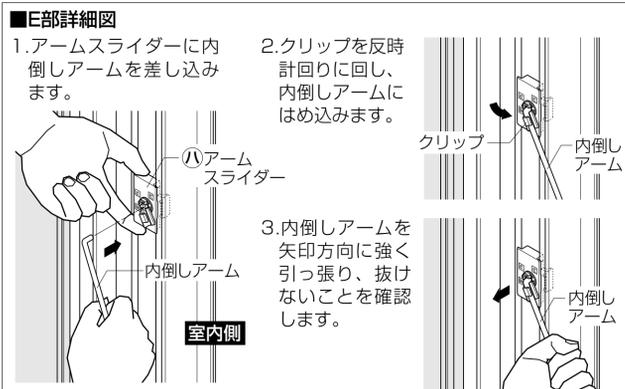
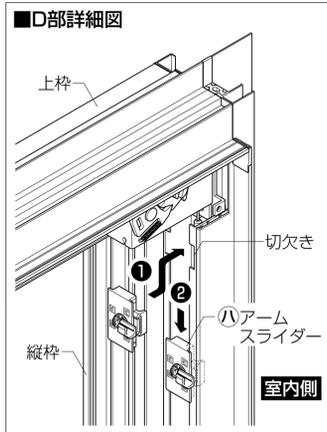
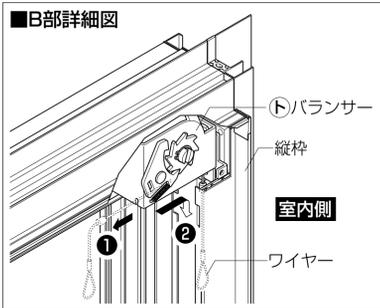
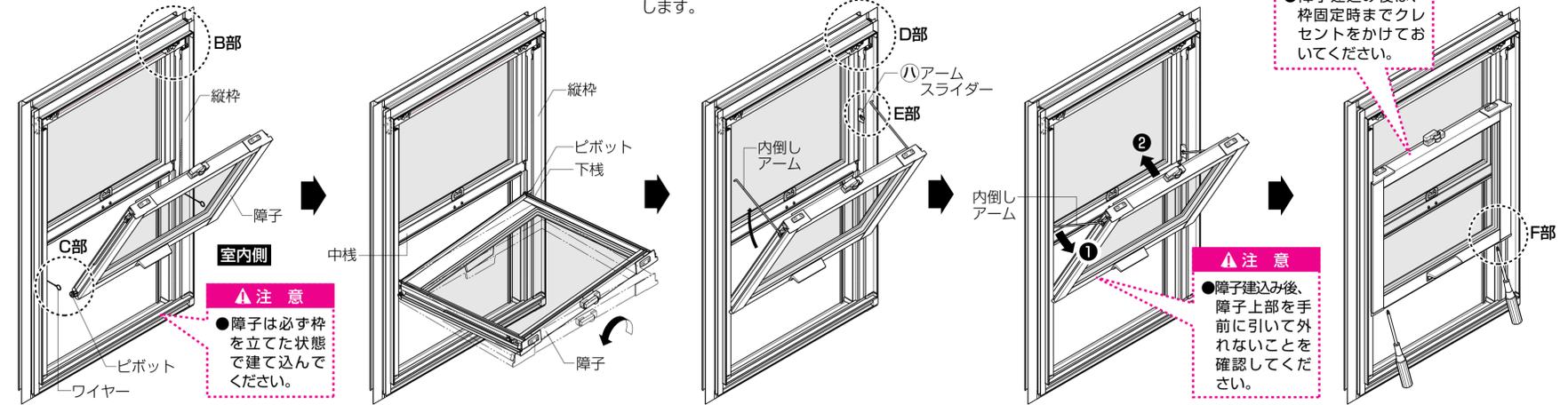
- ① バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ② ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。

- ③ 障子の下棧を中棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差し込みます。

- ④ アームスライダーの「室内」表示を室内側に向け、縦枠の切欠きから差し込みます。
※H30未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤ アームスライダーに内倒しアームを固定します。

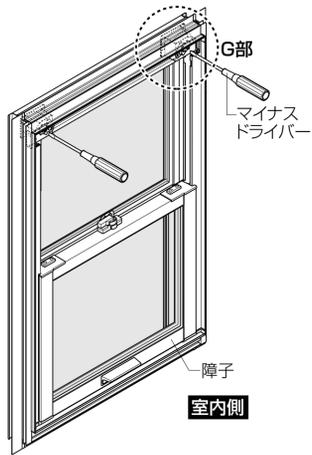
- ⑥ 内倒しアームを押し下げながら(1)、障子を起し、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)

- ⑦ ピボットのねじ位置を調整します。



6 バランサーの調整

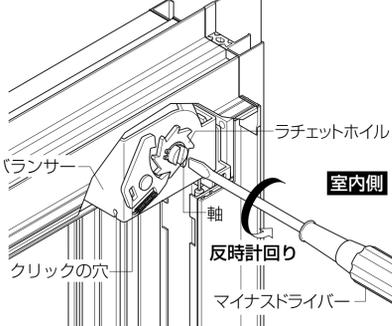
- ※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ① 障子を一番下に下げます。
 - ② 障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差し込んで回し、戻してください。



■G部詳細図

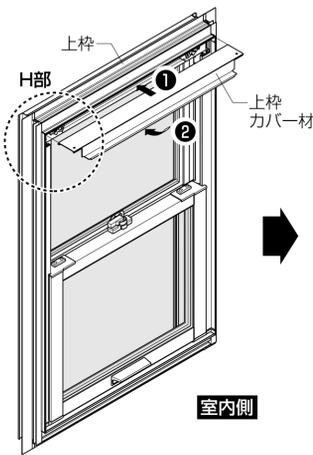
※図はR(内観右)を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。

※L(内観左)は逆回転(時計回り)です。

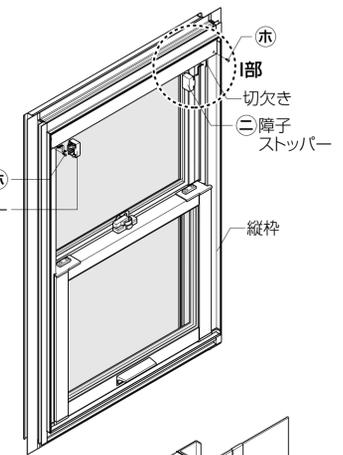


7 上枠カバー材の取付け

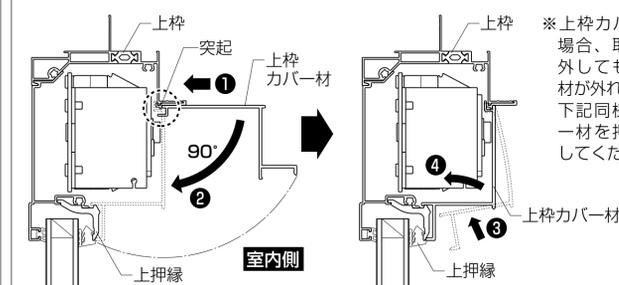
- ① 上枠カバー材を図の向きで上枠の突起に押し当てます。(1)
※左右の角度を傷つけないようにしてください。
- ② そのまま90°回転させます。(2)
- ③ 矢印部を押し上げて上枠カバー材をたわませながら(3)、上押縁にはめ込みます。(4)
- ④ 上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
- ⑤ 障子ストッパーを縦枠の切欠きに水平にはめ、「パチン」と音がするまで押し付けます。



- ④ 上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
- ⑤ 障子ストッパーを縦枠の切欠きに水平にはめ、「パチン」と音がするまで押し付けます。



■H部詳細図



※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、下記同様に上枠カバー材を押し上げて外してください。

■I部詳細図

